

みんな、プログラム見た？ 校長のあいさつ読んだ？  
プログラムの校長あいさつ文の最後に、こうある。

花は盛りに 月は隈なきをのみ見るものかは

これは吉田兼好が書いた『徒然草』の一節。

つまり、  
お花見で桜の花を愛でるのは、真っ盛りの時に限るとか、  
お月見で月の美しさを眺めるのは、曇り一つ無い時に限るとか、  
本当にそうかなあ、そんなことないんじゃない？  
っていう意味。

だから、  
西高祭が盛り上がるには、千人近い生徒がいなきゃだとか、  
ステージ発表に見とれたり、聞き惚れちゃうのは、3学年が揃ってなくちゃだとか、  
本当にそうかなあ、そんなことないんじゃない？

だったらさ、そんなことないって証明してみせようよ！

Let's do it! さあ、やろうぜ！  
Let's do it! Let's do it! Let's do it!  
(生徒はペンライト振りながら大合唱)

もう一つ大事なこと。  
大宮西高校は確かに無くなってしまいうけど、大宮西高校は建物を指すんじゃなく、  
56年の歴史とか伝統とかよりも、みんな自身が大宮西高校なんだ。  
今ここにいる一人一人が、16歳17歳18歳の熱いハートを持ったみんなこそが、  
大宮西高校そのものなんだ。

We are OMIYA WEST. 俺たちが大宮西高校なんだ。  
We are OMIYA WEST. We are OMIYA WEST.  
We are OMIYA WEST. We are OMIYA WEST.  
(再び生徒はペンライト振りながら大合唱)

さあ、始めよう！